

八雲の精神 世界へ発信

アイルランドで初の顕彰催事

松江ゆかりの文豪・小泉八雲が幼少期を過ごしたアイルランドの首都ダブリンで7日(日本時間8日)、同国初の顕彰イベントが始まった。初日は「開幕」と題した特別展の開幕式典があり、小泉八雲記念館(松江市長谷町)が所蔵する帽子や草稿が海外で初公開された。松江市在住のこの孫・小泉凡さん(58)が出席し、八雲の精神が広く知られ、後世に引き継がれることを願った。(三川麻衣 一部ロンドン共同)

松江で所蔵 帽子や草稿公開

開幕式典 凡さん出席



イベントは、興文化を受継いだ八雲の精神(アイアン・マインド)を世界に発信するが狙い。松江市や生誕地リシャの共済委員会などが同国を成切りに2009年以降、6回開いており、アイルランドでの初開催にこぎ着けた。アイアン・リトル・ミニシアムであった開幕式典には、麗美千尋駐アイルランド大使ら100人が出席。凡さんは、八雲の顕彰機会になればうれし

いとあいさつした。特別展には、同国所蔵のペンなど16点が持ち込まれ、このうち13点は初めて海外で公開された。八雲の生い立ちや功績を紹介するパネルも設置された。企画を担ったサイモン・オコナー学芸員(40)は「八雲の生涯に触れたいだけでなく、多彩で素晴らしい新作を読んだり聴いたりできるような」と話開

いた。地誌は、八雲が同国を離れよら約100年ぶりに「ダブリンで正式に認知される」と紹介した。展覧は来年1月3日まで、このほか同国の各地、野史郎さん(80)と手タリスト山本恭司さん(89)が八雲作品の朗読パフォーマンスを行う。松江市が寄贈した八雲の胸像の贈呈式もある。

アイルランド人を父に持つ八雲は、幼少でリシャで過ごし、その後、19歳までダブリンで暮らした。1880年から松江などで生活し、日本の経済や社会を海外で紹介した。

平成 27 年 10 月 9 日 付け ・ 山陰中央新報

イベント情報

あまんきみこさん(児童文学作家)対話会

来月1日 鳥根県立大松江キャンパス

あまんきみこさんと語る 秋の一日

平成27年11月1日(日) 10:00-12:00
鳥根県立大学松江キャンパス大講義室(松江県鳥根郡大松江町2-1-1)

あまんきみこさんの絵巻もありです

あまんきみこさんの絵巻もありです

あまんきみこさん講演会のチラシ

「ちいちゃんのかげおくり」「おにたのぼうし」など、小學校国語の教科書でもなじみ深い作品を手掛ける児童文学作家、あまんきみこさん(84)が11月1日午前10時から、松江市長乃木7丁目の鳥根県立大松江キャンパスで、作品に込めた思いを学生と語り合う。あまんきみこさんが来県するのは初めて。誰でも無料で入場できる。

あまんきみこさんは1931年、旧満州で生まれた。68年に「車のいろは空のいろ」でデビューし、第1回日本児童文学ビューシ、第1回日本児童文学者協会新人賞、野間児童文学賞推薦作品賞を受賞。以降も多くのファンタジー作品を生み出してきた。

当日は、これまでの人生や手掛けた絵本の内容などを話題にして松江キャンパスの学生と話し合う。会場では、あまんきみこさんの本の販売も行う。事前申し込みは不要。問い合わせは同キャンパス内おはなしレストランライブラリ1、電話0852(26)5563。

東西の文化交流に力注ぐ

公益財団法人しまね文化振興財団理事長
藤岡 大拙氏



ふじわか・たいいづつ 出雲市（鳥取県雲南市）出身。京都大学文学部国文学科卒。八雲立つ堀土記の住所長など歴任。現在は松江紅松製紙所長、常神台博物館館長、鳥取県立大短期大学部名誉教授、NPO法人出雲学研究所理事長。

鳥取県有明町の鳥取県芸術文化センター・グラントワは10月、開館10周年を迎えた。人口6万人規模の地方都市に立地しながら、石見美術館、いわみ芸術劇場を併設した県庁舎の芸術文化発信の総合拠点施設として、累計の来館者数は950万人を突破するなど、一躍の音楽や舞台、美術などが楽

しめる機会を積極的に提供している。いわみ芸術劇場を運営するしまね文化振興財団の藤岡大拙理事長と、グラントワの鳥取県一センター長がこのほどグラントワで対談し、開館10周年を振り返るとともに、グラントワを核にした文化交流、まちづくりについて話し合った。

鳥取県芸術文化センター長
澄川 喜一氏



すみかわ・きいち 鳥取県鳥取市（旧六日市町）出身。東京芸術大学彫刻科卒。同大教授、学長を務める。日本を代表する彫刻家の一人。2008年に文化功労者に選ばれる。「東京のイノベーター」のデザイン監修を務めた。日本芸術家協会、東京芸術大名教授・顧問など。

国内外へ石見を発信 藤岡氏 人麻呂の魅力紹介を

開館10周年を迎えるにあたり、藤岡氏は「開館10周年を振り返るとともに、グラントワを核にした文化交流、まちづくりについて話し合った」と語り、国内外への発信を重視している。藤岡氏は「開館10周年を振り返るとともに、グラントワを核にした文化交流、まちづくりについて話し合った」と語り、国内外への発信を重視している。藤岡氏は「開館10周年を振り返るとともに、グラントワを核にした文化交流、まちづくりについて話し合った」と語り、国内外への発信を重視している。

開館10周年を迎えるにあたり、藤岡氏は「開館10周年を振り返るとともに、グラントワを核にした文化交流、まちづくりについて話し合った」と語り、国内外への発信を重視している。藤岡氏は「開館10周年を振り返るとともに、グラントワを核にした文化交流、まちづくりについて話し合った」と語り、国内外への発信を重視している。



美納野中蔵にある自作のオブジェ「TOROCHI」を前に訪れ合う澄川一（左）と藤岡大拙（右）両氏。鳥取県芸術文化センター長と鳥取県文化振興財団理事長。

石見美術館	
◆開館10周年記念企画展 「折りの私像-石見の地より-」 2015年9月18日(土)~11月18日(月)	◆特別展 開館10周年記念 「コレクション探訪 ようこそ美人画廊へ」 2015年12月16日(土)~2016年2月1日(月)
◆企画展「こどもとファッション 小さな人たちの成長の足跡」 2016年2月27日(土)~4月11日(月)	◆開館10周年記念 音楽の探訪「現代・舞台コンサート」 2015年10月11日(日)
◆グラントワ開館10周年記念 芸術家展「現代・舞台コンサート」 2015年10月11日(日)	◆「これぞ！アソビマン」ミュージック 「まもれ！黄金の夜」 2015年11月8日(日)
◆グラントワ開館10周年記念 新加坡大船 25th Anniversary 「Key Concept「DELLUXE」-Best Selection」 2015年11月8日(日)	◆25周年記念公演 BEGINコンサート2015-2016(45分) 2015年11月27日(金)
◆25周年記念公演 音楽vol.17 「名曲をいこう」 2015年11月27日(金)	◆今福楽 新春大鼓新縁2016 2016年1月17日(日)
◆25周年記念公演 音楽vol.17 「名曲をいこう」 2015年11月27日(金)	◆25周年記念公演 音楽vol.17 「名曲をいこう」 2015年11月27日(金)

おかげさまで、開館10周年

10th ANNIVERSARY

2007年11月	竣工
2008年1月	開館
2008年10月	開館100万人達成
2009年12月	開館100万人達成
2010年2月	開館100万人達成
2010年7月	開館100万人達成
2010年9月	開館100万人達成
2010年11月	開館100万人達成
2011年2月	開館100万人達成
2011年5月	開館100万人達成
2011年7月	開館100万人達成
2011年9月	開館100万人達成
2011年11月	開館100万人達成
2012年1月	開館100万人達成
2012年3月	開館100万人達成
2012年5月	開館100万人達成
2012年7月	開館100万人達成
2012年9月	開館100万人達成
2012年11月	開館100万人達成
2013年1月	開館100万人達成
2013年3月	開館100万人達成
2013年5月	開館100万人達成
2013年7月	開館100万人達成
2013年9月	開館100万人達成
2013年11月	開館100万人達成
2014年1月	開館100万人達成
2014年3月	開館100万人達成
2014年5月	開館100万人達成
2014年7月	開館100万人達成
2014年9月	開館100万人達成
2014年11月	開館100万人達成
2015年1月	開館100万人達成
2015年3月	開館100万人達成
2015年5月	開館100万人達成
2015年7月	開館100万人達成
2015年9月	開館100万人達成
2015年11月	開館100万人達成
2016年1月	開館100万人達成
2016年3月	開館100万人達成
2016年5月	開館100万人達成
2016年7月	開館100万人達成
2016年9月	開館100万人達成
2016年11月	開館100万人達成
2017年1月	開館100万人達成
2017年3月	開館100万人達成
2017年5月	開館100万人達成
2017年7月	開館100万人達成
2017年9月	開館100万人達成
2017年11月	開館100万人達成
2018年1月	開館100万人達成
2018年3月	開館100万人達成
2018年5月	開館100万人達成
2018年7月	開館100万人達成
2018年9月	開館100万人達成
2018年11月	開館100万人達成
2019年1月	開館100万人達成
2019年3月	開館100万人達成
2019年5月	開館100万人達成
2019年7月	開館100万人達成
2019年9月	開館100万人達成
2019年11月	開館100万人達成
2020年1月	開館100万人達成
2020年3月	開館100万人達成
2020年5月	開館100万人達成
2020年7月	開館100万人達成
2020年9月	開館100万人達成
2020年11月	開館100万人達成
2021年1月	開館100万人達成
2021年3月	開館100万人達成
2021年5月	開館100万人達成
2021年7月	開館100万人達成
2021年9月	開館100万人達成
2021年11月	開館100万人達成
2022年1月	開館100万人達成
2022年3月	開館100万人達成
2022年5月	開館100万人達成
2022年7月	開館100万人達成
2022年9月	開館100万人達成
2022年11月	開館100万人達成
2023年1月	開館100万人達成
2023年3月	開館100万人達成
2023年5月	開館100万人達成
2023年7月	開館100万人達成
2023年9月	開館100万人達成
2023年11月	開館100万人達成
2024年1月	開館100万人達成
2024年3月	開館100万人達成
2024年5月	開館100万人達成
2024年7月	開館100万人達成
2024年9月	開館100万人達成
2024年11月	開館100万人達成
2025年1月	開館100万人達成
2025年3月	開館100万人達成
2025年5月	開館100万人達成
2025年7月	開館100万人達成
2025年9月	開館100万人達成
2025年11月	開館100万人達成
2026年1月	開館100万人達成
2026年3月	開館100万人達成
2026年5月	開館100万人達成
2026年7月	開館100万人達成
2026年9月	開館100万人達成
2026年11月	開館100万人達成
2027年1月	開館100万人達成
2027年3月	開館100万人達成
2027年5月	開館100万人達成
2027年7月	開館100万人達成
2027年9月	開館100万人達成
2027年11月	開館100万人達成
2028年1月	開館100万人達成
2028年3月	開館100万人達成
2028年5月	開館100万人達成
2028年7月	開館100万人達成
2028年9月	開館100万人達成
2028年11月	開館100万人達成
2029年1月	開館100万人達成
2029年3月	開館100万人達成
2029年5月	開館100万人達成
2029年7月	開館100万人達成
2029年9月	開館100万人達成
2029年11月	開館100万人達成
2030年1月	開館100万人達成
2030年3月	開館100万人達成
2030年5月	開館100万人達成
2030年7月	開館100万人達成
2030年9月	開館100万人達成
2030年11月	開館100万人達成
2031年1月	開館100万人達成
2031年3月	開館100万人達成
2031年5月	開館100万人達成
2031年7月	開館100万人達成
2031年9月	開館100万人達成
2031年11月	開館100万人達成
2032年1月	開館100万人達成
2032年3月	開館100万人達成
2032年5月	開館100万人達成
2032年7月	開館100万人達成
2032年9月	開館100万人達成
2032年11月	開館100万人達成
2033年1月	開館100万人達成
2033年3月	開館100万人達成
2033年5月	開館100万人達成
2033年7月	開館100万人達成
2033年9月	開館100万人達成
2033年11月	開館100万人達成
2034年1月	開館100万人達成
2034年3月	開館100万人達成
2034年5月	開館100万人達成
2034年7月	開館100万人達成
2034年9月	開館100万人達成
2034年11月	開館100万人達成
2035年1月	開館100万人達成
2035年3月	開館100万人達成
2035年5月	開館100万人達成
2035年7月	開館100万人達成
2035年9月	開館100万人達成
2035年11月	開館100万人達成
2036年1月	開館100万人達成
2036年3月	開館100万人達成
2036年5月	開館100万人達成
2036年7月	開館100万人達成
2036年9月	開館100万人達成
2036年11月	開館100万人達成
2037年1月	開館100万人達成
2037年3月	開館100万人達成
2037年5月	開館100万人達成
2037年7月	開館100万人達成
2037年9月	開館100万人達成
2037年11月	開館100万人達成
2038年1月	開館100万人達成
2038年3月	開館100万人達成
2038年5月	開館100万人達成
2038年7月	開館100万人達成
2038年9月	開館100万人達成
2038年11月	開館100万人達成
2039年1月	開館100万人達成
2039年3月	開館100万人達成
2039年5月	開館100万人達成
2039年7月	開館100万人達成
2039年9月	開館100万人達成
2039年11月	開館100万人達成
2040年1月	開館100万人達成
2040年3月	開館100万人達成
2040年5月	開館100万人達成
2040年7月	開館100万人達成
2040年9月	開館100万人達成
2040年11月	開館100万人達成
2041年1月	開館100万人達成
2041年3月	開館100万人達成
2041年5月	開館100万人達成
2041年7月	開館100万人達成
2041年9月	開館100万人達成
2041年11月	開館100万人達成
2042年1月	開館100万人達成
2042年3月	開館100万人達成
2042年5月	開館100万人達成
2042年7月	開館100万人達成
2042年9月	開館100万人達成
2042年11月	開館100万人達成
2043年1月	開館100万人達成
2043年3月	開館100万人達成
2043年5月	開館100万人達成
2043年7月	開館100万人達成
2043年9月	開館100万人達成
2043年11月	開館100万人達成
2044年1月	開館100万人達成
2044年3月	開館100万人達成
2044年5月	開館100万人達成
2044年7月	開館100万人達成
2044年9月	開館100万人達成
2044年11月	開館100万人達成
2045年1月	開館100万人達成
2045年3月	開館100万人達成
2045年5月	開館100万人達成
2045年7月	開館100万人達成
2045年9月	開館100万人達成
2045年11月	開館100万人達成
2046年1月	開館100万人達成
2046年3月	開館100万人達成
2046年5月	開館100万人達成
2046年7月	開館100万人達成
2046年9月	開館100万人達成
2046年11月	開館100万人達成
2047年1月	開館100万人達成
2047年3月	開館100万人達成
2047年5月	開館100万人達成
2047年7月	開館100万人達成
2047年9月	開館100万人達成
2047年11月	開館100万人達成
2048年1月	開館100万人達成
2048年3月	開館100万人達成
2048年5月	開館100万人達成
2048年7月	開館100万人達成
2048年9月	開館100万人達成
2048年11月	開館100万人達成
2049年1月	開館100万人達成
2049年3月	開館100万人達成
2049年5月	開館100万人達成
2049年7月	開館100万人達成
2049年9月	開館100万人達成
2049年11月	開館100万人達成
2050年1月	開館100万人達成
2050年3月	開館100万人達成
2050年5月	開館100万人達成
2050年7月	開館100万人達成
2050年9月	開館100万人達成
2050年11月	開館100万人達成
2051年1月	開館100万人達成
2051年3月	開館100万人達成
2051年5月	開館100万人達成
2051年7月	開館100万人達成
2051年9月	開館100万人達成
2051年11月	開館100万人達成
2052年1月	開館100万人達成
2052年3月	開館100万人達成
2052年5月	開館100万人達成
2052年7月	開館100万人達成
2052年9月	開館100万人達成
2052年11月	開館100万人達成
2053年1月	開館100万人達成
2053年3月	開館100万人達成
2053年5月	開館100万人達成
2053年7月	開館100万人達成
2053年9月	開館100万人達成
2053年11月	開館100万人達成
2054年1月	開館100万人達成
2054年3月	開館100万人達成
2054年5月	開館100万人達成
2054年7月	開館100万人達成
2054年9月	開館100万人達成
2054年11月	開館100万人達成
2055年1月	開館100万人達成
2055年3月	開館100万人達成
2055年5月	開館100万人達成
2055年7月	開館100万人達成
2055年9月	開館100万人達成
2055年11月	開館100万人達成
2056年1月	開館100万人達成
2056年3月	開館100万人達成
2056年5月	開館100万人達成
2056年7月	開館100万人達成
2056年9月	開館100万人達成
2056年11月	開館100万人達成
2057年1月	開館100万人達成
2057年3月	開館100万人達成
2057年5月	開館100万人達成
2057年7月	開館100万人達成
2057年9月	開館100万人達成
2057年11月	開館100万人達成
2058年1月	開館100万人達成
2058年3月	開館100万人達成
2058年5月	開館100万人達成
2058年7月	開館100万人達成
2058年9月	開館100万人達成
2058年11月	開館100万人達成
2059年1月	開館100万人達成
2059年3月	開館100万人達成
2059年5月	開館100万人達成
2059年7月	開館100万人達成
2059年9月	開館100万人達成
2059年11月	開館100万人達成
2060年1月	開館100万人達成
2060年3月	開館100万人達成
2060年5月	開館100万人達成
2060年7月	開館100万人達成
2060年9月	開館100万人達成
2060年11月	開館100万人達成
2061年1月	開館100万人達成
2061年3月	開館100万人達成
2061年5月	開館100万人達成
2061年7月	開館100万人達成
2061年9月	開館100万人達成
2061年11月	開館100万人達成
206	

怖さの中にも人間の機微

「松江怪談」を刊行

小泉八雲の作品や、公認から生まれた新作を集めた「松江怪談」が完成し、14日、山陰両県の主要書店で販売が始まった。怖さの中にも人間の機微が描かれた内容で、松江を題材にした作品も紹介している。

(曾田元孝)

松江

怪談を通して松江の魅 神仏分離令の出された明治を高めようと、元文芸 治時代、山に捨てられた 春秋編集長で松江観光 協会観光文化プロデュ ーサーの高橋一清さん (1)が編集し、今井印刷 (米子市富益町) が発行 した。

四六判で108頁。小 泉八雲の没後100年に 合わせ新作怪談を募集し た。文化情報誌「潮部松 江」編集部が選んだ優秀 作品など15作品を収録。 松江城下や星上山など を舞台にした県内在住の 作家の力作が並んでい る。

「星上山の地蔵」は、



「松江怪談」を紹介する高橋一清さん

なくした地蔵が月夜の晩 に首を探しても見つから ず、それを見た石工や、 うわさを聞いた村人が深 困気が伝わる一冊に仕上 がった」と話している。 価格は1080円。

ほかにも、松江を舞台 にした八雲の「小豆磨き 橋」など3編や、八雲の ひ孫の小泉凡三郎のイン タビュー、作家・辻原登 さんの八雲観も収めた。

平成 27 年 10 月 15 日 付 け ・ 山 陰 中 央 新 報

学生の県内就職率上昇へ

島大と県立大 文科省事業に採択 松江高専連携

島根県立大、松江工 業高等専門学校が若者の地 元着に取組む事業が、 高等教育機関を支援する文 部科学省の「地(知)の拠 点大学による地方創生推進 事業」に採択された。3大 学・高専が連携し、学生と 地元企業のマッチング事業 を展開。今後5年間で学生 の県内就職率を10%上昇さ せる。

同事業は本年度創設さ れ、文科省が申請のあった 56件のうち40件を選んだ。 補助金額総額は1事業当た り680万円。

採択された事業名は「地 域未来創生人材の育成を加速するオールしほね協働事 業」。3大学・高専は、企 業と学生が集まる「異業種 大交流会」を定期的に開催 するほか、研究施設を一般

を10倍増の451名に引き 上げるほか、共に研究を進 める40の企業団体・法人へ のインターシッフ参加者 と就職者数を、それぞれ約 130人、約20人増やす。 松江市内西町の島根大 松江キャンパスでこのほ かに、服装泰島根大、井上 本由雄一県立大、井上 明松江高専校長が記者会見

(佐々木一全)

平成 27 年 10 月 17 日 付 け ・ 山 陰 中 央 新 報

講座・講演

あまんきみこさんと語る
秋の一日

11月1日午前10時から、松江市浜乃木の県立大松江キャンパスで。童話作家・あまんきみこさんの講演会。あまんさんは1931年旧満州（中国東北部）に生まれ、1968年に「車のいろは空のいろ」（ポプラ社）でデビュー。「ちいちゃんのかげおくり」（あかね書房）や「おにたのぼうし」（ポプラ社）など、誰でも一度は読んだことのある童話を数多く紡ぎ出している。初来県

となる講演では、自身の作品や人生について学生との対談形式で語る。園おはなしレストランライブラリー
0852・26・556
3。

平成 27 年 10 月 25 日 付 け ・ り び え ～ る vol.418

松江

古本のフリマで
本好きが交流

カラコロ工房

古本のフリーマーケット「BOOK在月」が24日、松江市殿町のカラコロ工房で開かれた。26の個人・団体が出店し、来場者は本との出会いや本好きの出店者との会話を楽しんだ。

BOOK在月は「松江を本の街にしよう」と本好きが集まって実行委員会を結成し、2013年10月に初めて開き今回で3回目。古本を箱に詰めたまま販売す



古本を話題に会話を弾ませる出品者（左）と来場客

る「一箱古本市」のほか、書評合戦・ヒプリオバトルなどの催しや飲食ブースを設けて交流している。出店者は地べたに敷いたシートの上に、小説や評論本、雑誌、漫画など思い出の品々を並べ、1冊100円前後で販売。中には数十年前に発刊され、茶色く色付いた年代物もあり、古本談義が盛り上がった。初出店した松江市佐草町のアルバイト引野哲也さん

平成 27 年 10 月 25 日 付 け ・ 山 陰 中 央 新 報

